

平成28年度

事業報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

社会福祉法人 津野町社会福祉協議会

事業実績の概要

社会福祉法の改正により、社会福祉協議会も社会福祉法人としての責務が増大した。経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革が求められ、理事会等で対応について検討し、定款変更などの手続きや諸規程の整備などを実施した。

更に支援の質の向上を強く求められるようになり、本会では、生活困窮者自立相談支援事業、福祉サービス利用援助事業、介護事業、就労支援事業や地域福祉事業等、各種の事業を横断的に捉えながら、関係機関と連携し、伴走型の個別支援と地域福祉推進に努めた。

平成28年度重点的な取り組みに関する評価

1. 地域の福祉力を活用した地域福祉活動計画の策定

さまざまな機会を活用して、地域福祉活動の現状と課題の把握に努め、その課題の抽出、整理を職員全員で行うなど、住民と職員の課題が共有されたものになるように努めた。しかし、町地域福祉計画と連動した取り組みが不十分で、次年度以降に計画に基づいた実践を行うようにした。

2. 新しい介護予防・地域支援事業への対応

介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービス提供を行うために、訪問介護事業所として新事業移行による対応を順次行った。

3. 生活困窮者自立相談支援、福祉サービス利用援助等の個別相談支援機能の充実

職員体制の不備があり総合相談としての機能は不十分だったが、相談支援にあたる専門員、相談支援員によるアウトリーチや訪問相談などの多様な相談支援活動を実施した。

4. 社会福祉法改正による法人組織体制の強化

新定款の整備、役員、評議員会の新体制への移行準備、各種規程の整備等を行った。また、法人経営の透明性の確保のためにホームページの開設を行った。

1. 法人基盤整備・強化

(1) 理事会

社会福祉法改正に伴う組織運営等の対応について協議を行い、また、本会が実施する各種の事業及び経営について課題共有と今後の展開について議論を行った。

また、就労継続支援事業所「どんぐり農園グリューネ」の現地視察を行い、現状と対応すべき課題について協議した。

更に、理事は、ふれあい配食サービス、歳末助け合い関係事業、福祉パトロール等の事業にも積極的に参加した。

理事会には、職員も参加し、役職員が課題意識の共有を図った。

(2) 監事

理事の業務執行状況を監査する立場から、理事会に出席し意見を述べた。平成27年度の事業及び会計監査は平成28年5月24日に実施し、指摘事項を会長及び事務局へ告げた。同時に監査報告書を作成した上で、理事会、評議員会に報告した。

理事会及び監事の動きは、次のとおり

開催・活動日	会議等の名称及び出席者数	議題及び内容
平成28年 5月24日 会場 津野町総合保健 福祉センター 「里楽」	平成27年度事業 及び会計監査 監事 2名 (会長、事務局3名)	監査項目 ・平成27年度事業実績報告書 ・平成27年度計算書類及び関係書類 その他、監査結果の報告、会長、事務局長 との意見交換等

<p>平成 28 年 5 月 30 日</p> <p>会場 津野町総合保健 福祉センター 「里楽」</p>	<p>第 1 回理事会 理事 8 名 監事 2 名 (事務局 7 名)</p>	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度事業実績報告の認定 ・平成 27 年度決算書の認定 ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算 (第 1 次) ・ボランティア活動・福祉教育推進事業助 成金交付対象事業の承認 <p>〈協議・報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項報告 ・作業所里楽にかかる資産の繰入れ ・社会福祉法の改正 ・社協事業の今後の予定 ・会長会務報告
<p>平成 28 年 6 月 17 日</p> <p>会場 中土佐町社会福 祉協議会</p>	<p>ブロック別市町村 社協会長等意見交 換会 会長 副会長 (事務局 1 名)</p>	<p>〈協議・意見交換〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法改正 ・生活困窮者自立相談支援事業 ・生活福祉資金及び新規貸付事業 ・新総合事業及びあったかふれあいセンター
<p>平成 28 年 10 月 25 日</p> <p>会場 津野町福祉交流 センター</p>	<p>理事協議会 理事 8 名 監事 2 名 (事務局 6 名)</p>	<p>〈協議・報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規程等の一部改正（会長専決事項報告） ・社会福祉法改正と定款変更について ・事業所等の現状と課題 ・社協職員体制について
<p>平成 28 年 12 月 20 日</p> <p>会場 津野町総合保健 福祉センター 「里楽」</p>	<p>第 2 回理事会 理事 8 名 監事 2 名 (事務局 5 名)</p>	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算 (第 2 次) ・定款の変更 ・事務局就業規程の改正 ・臨時職員就業規程の改正 ・育児介護休業等に関する規程 ・会長専決に関する規程の改正 <p>〈協議・報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法の改正と今後のスケジュール ・事業進捗状況報告 ・会長会務報告

<p>平成 29 年 2 月 3 日</p> <p>会場 津野町福祉交流 センター</p>	<p>第 3 回理事会 理事 7 名 監事 2 名 (事務局 4 名)</p>	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算 (第 3 次) ・評議員の選任 ・評議員選出規程 ・評議員・役員並びに委員等の報酬及び費用弁償に関する規程の改正 <p>〈協議・報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員について ・どんぐり農園の経営について
<p>平成 29 年 2 月 7 日</p> <p>会場 津野町総合保健 福祉センター 「里楽」</p>	<p>臨時理事会 理事 8 名 監事 2 名 (事務局 1 名)</p>	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選任 ・評議員選任・解任委員会運営細則 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 <p>〈現地視察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり農園グリュエ
<p>平成 29 年 3 月 28 日</p> <p>会場 津野町総合保健 福祉センター 「里楽」</p>	<p>第 4 回理事会 理事 7 名 監事 2 名 (事務局 7 名)</p>	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算 (第 4 次) ・平成 29 年度事業計画 ・平成 29 年度資金収支予算 ・経理規程の改正 ・第三者委員の選任 ・評議員選任・解任委員の選任 ・評議員選任候補者の推薦 <p>〈協議・報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長会務報告



▲どんぐり農園を視察

(3) 評議員会

事業の円滑な遂行と法人運営について、次のとおり評議員会を開催し、協議した。改正社会福祉法についても課題共有を行った。

開催・活動日	会議等の名称及び出席者数	議 題 及 び 内 容
平成 28 年 5 月 30 日 会場 津野町総合保健福祉センター 「里楽」	第 1 回評議員会 評議員 13 名 監事 1 名 (会長、事務局 3 名)	〈議案〉 ・平成 27 年度事業実績報告の承認 ・平成 27 年度決算書の承認 ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算(第 1 次) 〈協議・報告〉 ・会長専決事項報告 ・社会福祉法の改正 ・社協事業の今後の予定 ・会長会務報告
平成 28 年 12 月 20 日 会場 津野町総合保健福祉センター 「里楽」	第 2 回評議員会 評議員 17 名 (会長、事務局 3 名)	〈議案〉 ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算(第 2 次) ・定款の変更 ・事務局就業規程の改正 ・臨時職員就業規程の改正 ・育児介護休業等に関する規程 ・会長専決に関する規程の改正 〈協議・報告〉 ・社会福祉法の改正と今後のスケジュール ・事業進捗状況報告 ・会長会務報告
平成 29 年 2 月 3 日 会場 津野町福祉交流センター	第 3 回評議員会 評議員 17 名 (会長、事務局 1 名)	〈議案〉 ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算(第 3 次) ・役員の選任 ・評議員選出規程 ・評議員、役員並びに委員等の報酬及び費用弁償に関する規程の改正 〈協議・報告〉 ・育児介護休業等に関する規程の一部解釈に関する報告

平成 29 年 3 月 28 日	第 4 回評議員会 評議員 15 名	〈議案〉 ・平成 28 年度資金収支予算書補正予算 (第 4 次) ・平成 29 年度事業計画 ・平成 29 年度資金収支予算 ・経理規程の改正
会場 津野町総合保健 福祉センター 「里楽」	(会長、事務局 3 名)	〈協議・報告〉 ・会長会務報告

(4) 住民会員会費制度

7 月に、町内全域の成人に会員加入のお願いをしたところ、各地区長の支援、協力により、下記のとおりの実績があった。また、特別会員の加入についても、格段のご理解をいただき下記のような実績を上げることができた。

会費は、地域福祉活動推進のため活用し、加入状況、使途については、社協日より「あくしゅ」に掲載し、また、地区長会で報告した。

①個人会員

	会員数 (人)	加入戸数 (戸)	口数 (口)	金額 (円)
東地区	1,244	1,054	1,260	630,000
西地区	587	510	607	303,500
合 計	1,831	1,564	1,867	933,500
※前年度	1,795	1,477	1,837	918,500

②特別会員

	団体数	加入口数	金額 (円)
町 内	35	38	190,000
※前年度	37	40	200,000



(5) 財源確保と運用

町より事務局経費を中心とした補助金支援を受けた。また、町、県、県社協からは、各受託事業の必要経費を受け入れた。

訪問介護及び訪問入浴介護は、不足分を町より支援を受けた。また、町を通して、県補助事業である「中山間地域介護サービス確保対策補助金」を受けた。介護職員処遇改善加算分については、受け入れ後、介護職員等に一時

金として交付した。

就労継続支援事業所は、利用者が減少したことで運営費収入が減少した。
利用者送迎等新たな取り組みのために資金投資を行った。

(6) 職員体制

本所、西支所及び就労継続支援事業所「どんぐり農園」、「作業所里楽」にそれぞれ職員を配置した。生活困窮者自立支援事業担当職員や介護職員、管理職の兼務により各事業の配置基準に対応したが、職員体制としては課題が残った。

☆ 平成29年3月現在の職員体制

本所	事務局長 1名 ※就労継続支援事業所 管理者、支所長兼務 主監 1名 ※訪問介護・訪問入浴介護事業所管理者兼務 主任 2名 ※地域活動支援センター施設長兼務 ※日常生活自立支援事業専門員兼務 主事 1名 ※訪問介護事業所サービス提供責任者 事務職員（臨時） 1名 事務職員兼訪問介護員（臨時） 1名 あったかふれあいセンター職員 （臨時） 3名 （非常勤） 1名 地域活動支援センター支援員（臨時） 1名 訪問介護員（非常勤） 3名 入浴運転士（非常勤） 1名	西支所	支所長（事務局長兼務） 1名 主任 1名 ※自立相談支援相談支援員兼務 事務職員（臨時） 2名 配食員（非常勤） 2名 訪問介護員（非常勤） 2名		
		就 労 継 続 支 援 事業所	サービス管理責任者 1名 目標工賃達成指導員（臨時） 1名 [どんぐり農園] 職業指導員（臨時） 1名 生活支援員（臨時） 2名 生活支援員（非常勤） 1名 [作業所里楽] 職業指導員（臨時） 1名 生活支援員（臨時） 2名 職業指導員（非常勤） 1名		
業務項目		正職員	臨時職員	非常勤職員	計
法人運営 地域福祉事業		4名	7. 5名	3名	1 4. 5名
介護事業		2名	0. 5名	6名	8. 5名
就労継続支援事業		1名	6名	2名	9名
計		7名	1 4名	1 1名	3 2名

2. 企画・広報事業

(1) 社協だより「あくしゅ」の発行

毎月1日を発行日として、年間12回発行した。各地区長に協力をいただき、全戸配布を行い、また町内の金融機関や公共施設、交流施設等関係機関へも配置をお願いした。

A4サイズ、全6ページ1色刷り、2月号についてはカラー印刷の体裁で作成した。また、ホームページへの掲載も行った。

(2) ホームページの開設

情報開示や住民への福祉サービス情報提供、福祉活動参加への動機付け、町外の津野町関係者とのつながりの構築、商品販売を目的として、本会のホームページを平成29年1月、開設した。

ホームページの更新や内容管理については、課題も多く残っているが、計算関係書類の公開、あくしゅ等の機関紙の掲示などを随時実施した。

(3) 社協リーフレット「こんにちは社協です」作成、配布

社協会員募集時(7月)に、社協の事業概要などを紹介したパンフレットを作成し、全戸に配布した。パンフレットの裏面には、住民の安心を支援するため、「お守りカード」を刷り込んだ。

(4) 健康ふくし展への参画

歳末助け合い「もち販売」を行った。民生児童委員、本会役職員により、会場近くの葉山の郷で作り、産業祭・健康ふくし展会場で販売した。

住民よりたくさんのもち米の寄付を受け、予定通り実施できた。

「作業所里楽」の喫茶コーナー開設や「どんぐり農園グリューネ」も花などの販売をし、収益につなげた。

開催日 平成28年11月27日(日)

場所 葉山運動公園体育館及び周辺

〈歳末助け合いもち販売〉

売上げ：169,600円

協力者：民生児童委員、社協役職員

3. 支え合いのしくみづくり

(1) 福祉委員活動推進

平成 28 年度福祉委員・民生児童委員連絡会出席状況

開催日	対象地区	参加者数（延人数）							実人数
		福祉委員	民生委員	地区長	消防団	一般	行政	社協	
4 月 14 日	新土居	4	1	3	1	0	2	5	10
4 月 18 日	船野、東倉川、舞ノ川、栗ノ木	2	1	2	3	0	2	2	12
	桂、桑ヶ市、西倉川、岩土、船戸町、船戸奈路、西の川、中村	5	2	6	4	0	2	3	18
4 月 19 日	烏出川、力石	2	1	0	6	1	2	3	15
4 月 20 日	姫野々	4	2	3	4	0	2	2	17
	郷	7	2	5	4	0	2	4	21
4 月 21 日	永野、貝ノ川 川の内	6	2	3	3	0	2	2	17
4 月 22 日	上井田、久保川	4	1	2	1	0	2	2	12
4 月 25 日	三間川、樺ノ川 西谷	6	1	3	2	0	2	4	18
4 月 26 日	下野、芳生野奈路	3	1	2	3	0	2	2	13
4 月 27 日	宮谷、木桑	5	1	2	5	0	1	4	16
	新田、保井川	5	1	3	3	0	1	5	18
4 月 28 日	高野	9	1	1	5	2	1	3	22
5 月 11 日	杉ノ川	6	1	3	1	0	1	5	16
5 月 12 日	赤木、桑ノ川、梶足	3	1	3	3	0	1	3	13
	北川、大古味	4	2	2	3	0	1	5	16
5 月 13 日	床鍋	7	1	0	1	2	5	5	20
5 月 16 日	大野、藤ノ川、鍵野々	3	1	3	1	0	1	4	12
5 月 17 日	白石	5	2	5	3	0	1	6	20
5 月 18 日	黒川、白河瀬	5	1	3	2	0	1	4	16
合計（20 会場）		95	26	54	58	5	34	73	322

東地区95名、西地区68名の福祉委員が、各地域で活動された。

西地区は、平成28年12月末日の任期満了に伴い、委員推薦を各地区長に依頼し、推薦を受けた方を本会会長より委嘱した。

昨年度に引き続き、地区内でも福祉委員活動を理解してもらいやすいように「福祉委員の手引き」を作成した。

福祉委員活動の周知と民生児童委員との連携を強めるため、また、地域の助け合いと防災活動の一体的推進のために、4月14日から5月18日の間、町内20会場で「福祉委員・民生児童委員連絡会」を開催した。本会の業務説明、防災活動の紹介の他、地域を主体とした福祉活動展開のため、地域の福祉課題、生活課題の聞き出しを行った。



▲福祉委員・民生児童委員連絡会

(2) 福祉パトロール

町内の70歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢夫婦世帯等に対して、民生児童委員、行政、消防、警察、ボランティアグループ、高知大学地域協働学部など福祉関係団体の協力により安心・安全見守り台帳の聞き取り訪問調査を行った。

新たに対象者となった方には個人情報使用同意書に署名してもらった。

地域での生活課題の困りごと、移動手段などの聞き取り調査も同時に行い、地域福祉活動計画の策定やコミュニティバスの運行に活用した。



平成 28 年度福祉パトロール状況

項 目	東 地 区	西 地 区
実 施 日	6 月 2 1 日 (火)	6 月 3 0 日 (金)
訪問世帯・人数	2 1 5 世帯・2 7 9 人	1 3 8 世帯・1 8 1 人
調査員数	ボランティア 5 5 人	ボランティア 6 6 人
	高知大学 2 0 人	
	関係機関 9 人	関係機関 8 人
	社協役職員 1 1 人	社協役職員 1 0 人
	計 9 5 人	計 8 4 人

(3) 安心・安全見守り台帳とお守りカード

高齢者等を対象にした福祉パトロールで、緊急連絡先やかかりつけ医、就寝場所などを聞き取り、安心・安全見守り台帳を作成した。その台帳の情報から「お守りカード」を作成し、6 3 3 人の在宅一人暮らし高齢者等へ配置した。

配置者数 : 東地区 3 3 2 人
西地区 3 0 1 人

(4) 住民参加型助け合い制度「ほっとサービス」

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある方等の暮らしの支援として住民参加によるサービスを実施した

[平成 28 年度中 受付件数 : 15 件]

<利用実績 : 14 件>

粗大ごみの処理 1 件
庭木の剪定 3 件
家周辺の草引き 3 件
部屋の掃除 1 件
墓掃除 1 件
障子貼り 2 件
風呂のカビ取り 1 件
家具転倒防止器具取り付け . . 2 件

<その他の対応 : 1 件>

危険（高所）と判断 1 件

協力会員 : 延 30 件
延稼働時間 : 31 時間

(5) ふれあい配食サービス

一人暮らし高齢者等への昼食宅配サービス。東地区では、月4回、西地区では、月3回実施した。ボランティア、民生児童委員の全面的な協力を得て、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等で希望される方に手作り弁当を届けた。

また、住民の方から多くの食材料の提供をいただいた。

ボランティア、民生児童委員の配達時には、話し相手や安否確認などもでき、心の交流につながった。

調理ボランティア同士の交流を図るため、1月16日、愛媛県八幡浜市でかまぼこづくりの体験を行った。41名の参加により、親睦を深めることができた。



平成28年度ふれあい配食 実績

	配食数 (食)	利用者数 (人) (4月時点)	調理ボランティア (延人数)	配達ボランティア (延人数)
東地区	2,237	51	276	434
西地区	2,364	72	266	232
計	4,601	123	542	666
※前年度	4,771	123	578	790

(6) 生活支援型配食サービス

町からの受託事業として実施。ケア調整会議で必要と認められた方へ昼食を配達した。全町で毎日型の配達を実施した。一般食は、町内飲食業者、特別食は、特別養護老人ホームに調理を委託し、配達には社協職員が対応した。安否確認や必要がある場合には、関係機関への連絡等、在宅生活の継続を支援した。

平成 28 年度 生活支援配食 月別実績

月	東 地 区		西 地 区		津野町全体	
	利用実 人数 (人)	配食数 (食)	利用実 人数 (人)	配食数 (食)	利用実 人数 (人)	配食数 (食)
4 月	18	193	6	95	24	288
5 月	10	190	6	84	16	274
6 月	11	182	6	61	17	243
7 月	11	205	7	56	18	261
8 月	12	213	7	62	19	275
9 月	12	187	7	41	19	228
10 月	12	198	7	88	19	286
11 月	13	193	7	129	20	322
12 月	13	198	7	133	20	331
1 月	13	196	7	97	20	293
2 月	12	194	5	94	17	288
3 月	14	222	5	107	19	329
計	151	2,371	77	1,047	228	3,418
※前年度	130	2,012	80	1,411	210	3,423

(7) あったかふれあいセンター

町より受託し、5か所のサテライト拠点で週1回のペースで実施した。現場スタッフ3名及び送迎等支援非常勤スタッフ1名の体制で行った。

全サテライトで地域のニーズや生活環境を把握するための生活実態調査を実施した。

町との課題共有、個別支援の充実等を行うため、スタッフ会やケース検討会等を実施し、各関係機関との連携、情報共有がスムーズに行えるようになった。スタッフも福祉制度や健康管理に関する知識などを得ることができた。

〔集い〕

サテライト 名称	開設日 数	利用者数（延人数）					前年度 利用者数
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合 計	
いちょうの 郷	45	809	0	9	42	860	840
鶴松の風	48	1,855	0	54	67	1,976	1,925
新田 くつろぎ家	48	895	4	43	35	977	724
いらずの さと	47	870	0	24	24	918	989
せんだん	50	1,265	25	28	65	1,383	1,478
合 計	238	5,694	29	158	233	6,114	5,956



〔機能別利用者数（延人数）〕

集い(再掲)	送迎	訪問	生活支援	相談
6,114	2,990	68	411	22

〔会議の開催回数〕

定例会	スタッフ全体会	ケース検討会	スタッフ会	運営協議会
4	10	11	22	28

(8) 地域のサロン

各地区の地域性やニーズに合わせたサロン活動が地域の創意工夫で展開され、本会では、サロンの運営上の相談を受け支援等を行った。

サロン世話人連絡会では、介護予防の取り組みの必要性や重要性を情報提供し、また、各サロンで課題となっている内容について意見交換を行った。更に、日頃の課題や活動への不安、世話人としての苦勞をわかり合うため、世話人同士の「ちょこっとお茶会」を開催した。

第20回サロン対抗輪投げ大会は、記念交流大会として開催し、多くの住民でにぎわった。

サロン運営の支援やあり方を探るため、昨年度に引き続き、定期的に町との情報交換を行った。

平成 28 年度開催実績

報告サロン数	35 か所 (東地区 24 か所 西地区 11 か所)
開催回数	延 629 回 (東地区 467 回 西地区 162 回)
参加人数	延 5,717 人 (東地区 4,157 人 西地区 1,560 人)

《サロン世話人連絡会》

平成 28 年 4 月 12 日 (火)

参加者 15 サロン 22 名

《ちょこっとお茶会》

平成 28 年 10 月 20 日 (木)

参加者 10 サロン 17 名

《輪投げ大会》

●第 19 回

平成 28 年 8 月 27 日 (土)

参加者 16 サロン 79 名

●第 20 回

平成 29 年 3 月 4 日 (土)

参加者 22 サロン 113 名



4. 福祉教育・ボランティア活動

(1) ボランティア活動・福祉教育推進事業助成金交付事業

津野町内の小、中学校が行う地域でのボランティア活動や福祉教育・伝承活動の取り組み支援することを目的として、本会の会員会費を活用して助成を行った。

[助成先]

学校名	助成事業内容
中央小学校	施設訪問、作業所交流、サロン訪問、米作り、人権参観日講演
精華小学校	いきいきふれあい祭、敬老年賀状
葉山小学校	地域連携活動、ふれあい参観日、収穫祭、学習発表会
東津野中学校	神楽の伝承
葉山中学校	保育園訪問、24 時間TV募金、全校ボランティア活動、高齢者への年賀状、ふれあいコンサート、勤労体験

(2) 福祉教育・ボランティア学習の推進

津野町内の小・中学校と連携し、福祉体験活動に取り組んだ。

《ふれあいサロン・老人クラブとの交流事業》

葉山小学校交流もちつき 平成 28 年 12 月 9 日
(白雲サロン、城下町サロン、姫寿会)

(3) ボランティアセンター機能の強化

①ボランティア登録者の現状

個人ボランティア登録 80 名 (東 24 名、西 56 名)

※平成 29 年 3 月末

②ボランティア保険加入手続き

加入者 11 グループ 211 人

ボランティア行事用保険加入手続き件数 23 件

③ボランティア連絡協議会事務局

町内各種のボランティア関連団体の連絡調整組織として、事務局運営を行った。

加入団体 18 団体

- ・代表者会の実施 4 月 28 日（木）
- ・ボランティア情報誌の発行 1 回

④24 時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティキャンペーン

ボランティア連絡協議会を中心として、賛同団体による実行委員会を組織し、津野町全体の取り組みを行った。本会は事務局業務を行い、テレビ局との調整、輪投げ大会等の内容企画実施、募金の集計送金等を行った。

実施日 平成 28 年 8 月 27 日

会場 〈東会場〉津野町総合保健福祉センター「里楽」
 〈西会場〉津野町福祉交流センター

募金送金額 446,809 円

（４） 災害ボランティアセンター運営会議

南海地震に備え、平常時から、地元団体が自力で「災害ボランティアセンター」の設置、運営ができるように、36 の各種団体・機関と共に体制づくり、体制強化を図った。

また、地域福祉活動計画の策定にあたり、災害ボランティアセンター運営会議の推進計画を検討するうえで、災害時の課題や平時の取り組みについてグループワークを行った。

実施日	事業名	参加者数
9 月 16 日	災害ボランティアセンター運営基礎研修	5 名
9 月 30 日	第 1 回災害ボランティアセンター運営会議	16 名
12 月 17 日	船戸総地区防災訓練及び災害ボランティアセンター模擬訓練	103 名
1 月 18 日	第 2 回災害ボランティアセンター運営会議	18 名
1 月 29 日	地域住民を守る災害救護救援研修会	3 名

5. 共同募金事業、日赤事業

(1) 共同募金、歳末たすけあい募金の募集と助成事業

共同募金推進計画に基づいて募金活動をそれぞれ行った。

戸別募金では各地区長の全面的な協力で募金活動を実施し、歳末たすけあい運動では、産業祭・健康ふくし展時に、手作り餅の販売を行い、本会役職員のみならず民生児童委員、ボランティア、来場者のご協力により収益があがり、歳末たすけあい募金として寄付した。また、もち米も多くの方からご寄付をいただいた。

- ① 赤い羽根共同募金…… 募金実績額 1,279,340 円
本会で受けた助成額 804,074 円
助成事業・ふれあい配食サービス
・福祉パトロール
・社協便り[あくしゅ]発行

- ② 歳末たすけあい募金… 募金実績額 170,600 円
本会で受けた助成額 202,761 円
助成事業・年末おせち料理配食

(2) 歳末たすけあい助成事業「おせち料理の配食」

歳末たすけあい義援金を活用して、年末に一人暮らし高齢者、高齢世帯等へ手作りおせち料理を配食した。

西地区、東地区それぞれに寿司などのおせち料理をボランティアの皆さんにより手作りされ、配食された。

実施日 平成 28 年 12 月 22 日
配食数 369 食
(西地区 183 食、東地区 186 食)
調理・配達ボランティア 延 144 人
(西地区 78 人、東地区 66 人)



(3) 日赤（赤十字）社資募集

赤十字事業の啓発に努め、その活動資金となる社資募集を「赤十字社員増強月間」である 5 月に行った。各地区長の協力で次のとおりの実績があった。

目標額 810,000 円
実績額 975,500 円
災害積立金 431,266 円

また、日本赤十字社高知県支部高幡地区の事務局を務め、本会会長が地区長を兼務した。

6. 在宅介護支援事業

(1) 介護保険サービス「訪問介護」の実施

本年度は、介護保険制度の改正により、サービス内容が「介護予防」から「介護予防・日常生活自立支援総合事業」へ移行され、利用者との契約にかかる手続き、サービス提供、請求事務等も併せ移行手続きを行った。

個別支援については、居宅サービス計画に沿った訪問介護計画の作成を行い、利用者とのコミュニケーションを大切にして、計画に基づいたサービスの提供を行った。

ケース検討会を定期的に行い、情報を共有することによって統一したサービスを提供することができた。ヘルパーの資質向上のための職場内研修（障害、救急法）を行った。

年々利用者が施設入所や入院で減少しているため、経営的に厳しい状況となった。

平成 28 年度利用実績

月	利用者数（実人員）		稼働ヘルパー数 （実人員）
	28年度	※前年度	
4月	20	22	6
5月	19	22	6
6月	18	23	6
7月	18	23	6
8月	18	22	6
9月	15	22	6
10月	15	22	6
11月	16	21	6
12月	17	21	6
1月	14	20	6
2月	16	21	5
3月	17	21	6
合 計	延 203	延 260	延 71

平成 28 年度サービス内容別提供数

サービス内容	提供回数(回)		延時間 (時間)	
	2 8 年度	※前年度	2 8 年度	※前年度
身体介護	454	612	272	377
生活援助	842	873	800	873
身体＋生活	149	264	165	290
介護予防	243	522	243	522
介護予防・生活 支援サービス	156	***	156	***
合 計	1, 844	2, 271	1, 636	2, 062

(2) 介護保険サービス「訪問入浴介護」の実施

自宅で安全に安心して入浴をしていただくことによって、身体の清潔保持ができ、在宅での生活を支援することができた。昨年度に比べ利用は微増したが、運営は厳しかった。

平成 28 年度利用者数

月	利用者数 (実人員)		利用回数 (延)	
	2 8 年度	※前年度	2 8 年度	※前年度
4 月	1	2	2	0
5 月	2	1	5	0
6 月	2	1	6	3
7 月	2	1	6	5
8 月	2	1	6	3
9 月	2	1	7	4
1 0 月	2	1	6	4
1 1 月	2	1	5	3
1 2 月	2	1	8	2
1 月	2	1	4	2
2 月	2	1	1	4
3 月	2	1	1	6
合 計	延 23	延 13	57	36

(3) 障害福祉サービス「居宅介護」の実施

心身に障がいをもつ方の在宅生活を支援するために、利用者の身体機能の維持や心のケアに配慮したサービスに努めた。

利用者の生活の質を高めるため、町相談支援事業所、町障害担当保健師及び他サービス関係スタッフによるケース会議に出席した。

平成 28 年度利用実績

月	利用者数（実人員）		利用時間（延）	
	28年度	※前年度	28年度	※前年度
4月	2	4	19.0	20.5
5月	2	3	18.0	23.0
6月	2	3	19.0	21.5
7月	2	3	20.0	17.5
8月	2	3	19.0	25.0
9月	3	3	19.0	20.0
10月	3	3	22.0	25.0
11月	4	3	18.0	20.0
12月	4	2	25.0	17.5
1月	5	2	30.5	15.5
2月	5	2	23.5	17.0
3月	4	2	27.0	18.0
合 計	延 38	延 33	260.0	240.5

(4) 移動支援事業

外出のための移動に困難がある障がい児・者の日中の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、町より受託し、介護職員による移動支援を行った。

平成 28 年度利用実績

月	利用者（実人数）		利用日数		利用時間	
	28年度	※前年度	28年度	※前年度	28年度	※前年度
4月	1	0	1	0	10.0	0
5月	1	1	2	1	11.0	10.5
6月	0	0	0	0	0	0
7月	1	1	3	2	22.0	12.0
8月	1	2	7	4	37.5	27.0
9月	0	1	0	1	0	9.0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	1	0	2	0	8.2
12月	1	1	1	1	6.0	1.0
1月	1	2	1	2	6.0	7.0
2月	0	1	0	1	0	1.0
3月	0	1	0	1	0	1.0
計	延 6	延 11	延 15	延 15	延 92.5	延 76.7

(5) 日中一時支援事業

町からの受託事業として実施。家族の就労支援や障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として、町総合保健福祉センター及びこども園を利用して支援を行った。

平成 28 年度利用実績

月	利用者（実人数）		利用日数		利用時間	
	28年度	※前年度	28年度	※前年度	28年度	※前年度
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	3	0	9	0
3月	2	0	8	0	24	0
計	延 3	0	延 11	0	延 33	0

(6) 福祉用具貸与・介護用品あっせん事業

介護保険利用の有無にかかわらず、気軽に福祉用具を利用していただけのように貸与を行った。ベッドの搬出入は、本会事務局で行った。

通院時や外出時のみの車椅子貸与を無料で行うなども行った。介護用品の斡旋については、本会事務局で相談を受けながら対応した。

貸出用福祉用具の管理徹底するために、老朽化したベッドの処分を行った。

所有用具	貸し出し利用人数		
	短期	長期	※前年度
電動ベッド	0	17	長期 18 短期 1
車椅子	45	8	長期 3 短期 61

7. 就労継続支援事業所の運営

(1) 経営

障害福祉サービス就労継続支援（B型）事業所として、どんぐり農園グリーネ・作業所里楽を一体的に運営し安定した経営を行った。

運営費収入やこれまでの資金を活用して、施設設備の充実、送迎車両の確保を行った。

(2) 利用者の状況と支援

年度当初の利用者は、24名であったが、新規利用者はなく、4名の退所者（退所の理由は、一般就労1名、長期入院1名、高齢化による通所困難1名、死亡1名）で最終的に20名の利用者になった。利用者の高齢化及び他事業所の利用等による利用日数の減少が課題で、新たな利用者の確保が必要である。

個別支援会議及びモニタリング会議等により個別支援計画を作成し、個人の能力や心理、体調等の状況把握を行いながら指導及び支援を行った。また、職員の資質向上を図るため、各種研修会への参加や相談支援センターとのケース会議への参加など、支援のスキルアップ・組織力向上を図った。

利用者の生活支援及び快適な仕事の環境を整えるために、シャワー室を整備した。

また、利用者の利便性を高めるために送迎車両を整備し、試行的に送迎運行を行った。

(3) 作業と売り上げ

授産事業については、職員間で協議を重ね、商品の改善や作業の効率化を図ったり、新商品の開発を行った。

特に作業所里楽では、津野町特産のお茶を使ったクッキーやパウンドケーキを製造・販売し、町内外の購入者から好評だった。どんぐり農園では、主に花・野菜（ハナニラ）・苗木の売上、クリスマスツリーのリース、町受託事業等による収入、作業所里楽では、クッキー・パウンドケーキ・喫茶・自動販売機・アイスクリーム・プール用品等の売上、町受託事業、葉山荘清掃委託事業での収入があった。

販売活動では、両事業所が協力し合いながら精力的にイベント等で販売した。また、新たな販売活動先の検討をし、高知県立ふくし交流プラザで販売活動が行えるよう高知県社会福祉協議会の担当職員と協議し平成 29 年度から販売できることとなった。

(4) 研修

どんぐり農園が一泊研修旅行を実施し、香川県小豆島に利用者 9 名、職員 6 名の参加でオリーブ園及びハーブガーデンの施設見学を行った。

その他、町総合保健福祉センターが実施する避難訓練に作業所里楽の利用者、スタッフが参加し、災害時の避難行動について学んだ。

平成 28 年度利用実績

月	利用者数 (実人員)	利用者数 (延人員)	内 訳	
			どんぐり農園	作業所里楽
4 月	23	385	173	212
5 月	22	368	171	197
6 月	21	406	188	218
7 月	21	363	173	190
8 月	21	379	179	200
9 月	21	338	163	175
10 月	21	342	166	176
11 月	21	386	173	213
12 月	21	336	166	170
1 月	20	319	158	161
2 月	20	333	166	167
3 月	20	369	183	186
合 計	252	4,324	2,059	2,265
※前年度	272	4,643	2,063	2,580

平成 28 年度月別行事・販売実績

月	行事・会議	販売活動
4 月	遠足（どんぐり・里楽）、合同職員会	婦人会総会 町内教職員研修会
5 月	合同職員会	春の特産市 障がい連総会
6 月	買い物支援、福祉職員初任者研修、合同職員会 品質マネジメント研修	老連総会 一陽祭
7 月	合同社会見学、合同職員会	
8 月	職員会、買い物支援 品質マネジメント研修 障害者就業・生活支援センターこうばん連絡協議会	町内教職員研修会
9 月	職員会 避難訓練（どんぐり） 全国手をつなぐ育成会全国事業所協議会研修大会岡山県大会 障害者雇用促進セミナー、発達障害に関するセミナー 品質マネジメント研修	
10 月		高幡地区障害者運動会 老人大学 教育フォーラム
11 月	産業祭・健康ふくし展（どんぐり・里楽） 品質マネジメント研修 買い物支援	産業祭・健康ふくし展 高橋病院梅寿祭
12 月	一泊研修旅行（どんぐり） サービス管理責任者等研修	クリスマス会
1 月	食事会（里楽） 防災訓練・非常食試食	
2 月		
3 月	職員会、救急法講習会、避難訓練（里楽） 品質マネジメント研修	梶原町三笑会福祉大会



▲里楽避難訓練



▲日本財団より寄贈された送迎車

8. 地域活動支援センターの運営

町内の障がいのある住民が交流活動やレクレーションを通じて、地域との交流や仲間づくりを行うために、毎月「わきあいあい広場」を実施し、また、集団生活に馴染みにくい在宅障がい者が生活の訓練などを行う「わきあいあい広場ミニ」を開設した。

また、障がい者支援のボランティアとミーティングを行い、障害理解や個別支援について話し合う機会を設けた。

ご本人や家族の抱える困りごとに対応するために支援員が在宅訪問を行い、生活状況把握や悩み事を聞かせていただき、関係機関と共に情報共有した。

学校の長期休暇期間中には、障がい児童、生徒対象に「障害児長期休暇支援事業」を実施し、関係者及び支援ボランティアの協力を得て、子どもたちの様々な体験や遊びの場を提供し、楽しい休暇を過ごしてもらうことができた。

《わきあいあい広場》

町内の障がい者の交流の場として毎月実施した。

参加を通して、社会生活の幅が広がり、日常生活の中でも声掛けができる仲間となってきた。

実施日	内 容	参加者数（人）	
		障がい者	ボランティア 社協職員
4月25日	調理、社会見学（天狗高原、奥四万十の郷）	13	10
5月12日	スポーツ（ボッチャ）、買い物	8	6
6月27日	調理、カラオケ	7	9
7月6日	調理、グラウンドゴルフ	12	8
8月4日	短冊づくり、調理、陶芸	11	7
9月15日	買い物	17	12
10月12日	調理、ノルディックウォーキング	12	9
11月30日	調理、DVD鑑賞、歯科講習、テーブルゲーム	15	7
12月16日	調理、クリスマスケーキ作り、クリスマス会	14	6
1月25日	防災食づくり、防災勉強会	12	7
2月14日	調理、おやつ作り	13	7
3月22日	調理、次年度話し合い	11	10
合 計		145	98
※前年度		143	107

《わきあいあい広場ミニ》

日中の居場所を確保し、自分のペースで社会的な体験ができる場として、開設した。集団の中では対応できにくい個性と障害特性への配慮をしつつ生活課題に向き合い、利用者主体の調理や作業を通して個別支援を行った。

実施月	内 容	利用者数 (人)
4 月 (2 回)	調理、掃除、散歩、手芸、図書	2
5 月 (2 回)	調理、カラオケ、工作、座談	3
6 月 (2 回)	調理、カラオケ、工作	4
7 月 (2 回)	調理、カラオケ、買い物	5
8 月 (2 回)	調理、工作、風鈴絵付け	4
9 月 (2 回)	調理、工作、折り紙、工芸、夕飯調理実習	4
10 月 (2 回)	調理、散策、座談、あったか見学、図書	3
11 月 (2 回)	調理、散歩、ゲーム、工作、おもちゃづくり	3
12 月 (2 回)	調理、ジグソーパズル、工作	3
1 月 (2 回)	調理、工作、あったか参加	3
2 月 (2 回)	調理、工作、パズル、散歩	4
3 月 (2 回)	調理、座談、手芸	3
計		41

《生活相談事業》

在宅で暮らされている障がいのある方々のうち、町より訪問依頼のあった方に支援員が訪問し、日ごろの困りごとなどの聞き取りを行った。必要なケースについては、町や保健師に相談し、つないだ。

訪問対象実人数 10人

訪問回数 10回

《障がい児長期休暇支援事業》

保健師等町関係者との協議や関係学校との連絡をとりながら、子どもたちが楽しい休暇を送れるよう支援した。地域住民、支援ボランティアの協力を得て実施し、また、中土佐町の子どもたちとの交流を行った。



平成 28 年度長期休暇支援事業実施内容・参加者数

実施日	内 容	参加者数（人）		
		対象児童・生徒	ボランティア	職員(町、社協)
7 月 22 日	オリエンテーション、調理実習計画、読み聞かせ、プール、宿題	10	3	7
7 月 25 日	調理実習、宿題、野菜の種まき	7	7	7
7 月 27 日	調理実習、遠足	8	7	7
8 月 2 日	調理実習（そうめん流し）、宿題 木工教室	9	15	9
8 月 5 日	障害者スポーツ体験	6	4	8
8 月 8 日	読み聞かせ、野菜の世話、宿題、プール	9	8	6
8 月 12 日	中土佐町のなかまと交流	8	5	8
8 月 17 日	読み聞かせ、宿題、歯科教室、音楽療法	6	8	5
8 月 19 日	野菜の収穫、調理実習、プール 宿題	10	3	10
8 月 22 日	野菜の収穫、調理実習、プール 宿題	9	7	9
8 月 25 日	読み聞かせ、書道教室、プール	10	2	11
12 月 27 日	調理実習計画、もちつき、自由遊び	8	3	4
1 月 6 日	調理実習、運動	7	4	4
3 月 29 日	グラウンドゴルフ、レクレーション	8	6	3
合 計		115	82	98
※前年度		130	140	73

9. 生活相談・個別支援

(1) 生活福祉資金貸付制度の活用支援

高知県社会福祉協議会との契約によって借受世帯に対する償還支援を実施した。特に、生活困窮者自立相談支援事業とも連携し、滞納世帯については、個別訪問を行った。新規の借受け申請は0件だった。

- 平成28年度末現在貸付件数 14件
東地区 4件(4人)
西地区 10件(8人)

(2) 福祉サービス利用援助事業による支援

日常生活を送る上で、自分ひとりでは判断することが難しい高齢者や障がい者の方々が安心して生活が送れるように、福祉サービス利用援助と日常的な金銭管理を行った。専門員としては本会職員(2名)があたり、生活支援員(非常勤3名)と情報共有しながら取り組んだ。

また、日常的な金銭管理を行ううえで必要な「預かり物品の保管及び使用に関する取扱要領」を見直し、適正な管理体制を整えた。

関係機関との情報共有とチーム支援、長期入院(入所)者への対応、成年後見制度への移行支援が課題としてある。

- 平成28年度末現在契約件数 7件
 - ・ 新規契約者 2件
 - ・ 途中解約者 1件
- 相談件数(サービスへの問い合わせ、利用者からの生活相談) 26件
- 支援時間 108.5時間
(生活支援員:57.5時間、専門員:50時間、その他職員:1時間)

(3) 生活困窮者自立相談支援事業

生活保護に至る前の生活困窮者に対し、「就労支援」及び「その他の自立に関する問題について相談・支援」を行った。相談支援員及び主任相談支援員は、本会職員(2名)が兼務し、取り組んだ。

相談支援員を中心に事業の理解と個別相談対応の資質を向上させるために各種の研修会へ積極的に参加した。

また、町校長会や民生児童委員協議会定例会、町関係部署との協議及び協力依頼を行った。

民生児童委員からの情報提供や民生児童委員との同行訪問なども行い、相談者の生活課題の把握・整理から課題解決に向けて状況に応じた包括的・伴走型支援に努めた。

引きこもりの若者無業者の支援のために、若者サポートステーション、教育委員会、町健康福祉課と協力体制をとり、定期的な関係者会議を開催した。今後の支援体制についての協議も行った。

県下で展開される食料支援のためのフードバンク活動にも参加し、住民への呼びかけを「あくしゅ」や事務所窓口で呼びかけ、多くの食料品のご寄付をいただいた。また、必要な方への食料提供活動も行った。

●支援調整会議 3回

(家計の見える化支援、就労支援及び相談の終結)

●相談件数 25件

●支援回数 152回

(電話・同行訪問・訪問等)



10. 福祉団体の活動支援

各団体の事業計画に基づき、役員を中心とした事業運営が円滑に行われるよう支援した。事務局として活動した団体は、次のとおり。

(1) 民生児童委員協議会 事務局

本会と協働しながら、福祉パトロール、安心安全見守り台帳作成等に主体的に関わり、調査、調整、学習活動等を行った。

毎月の定例会開催や学校訪問の調整、会計事務、各種研修会への参加調整、研修事業調整など事務局業務を行った。

また、須崎福祉保健所管内民生児童委員連絡協議会の総務事務も行った。

(2) 老人クラブ連合会 事務局

地域老人クラブの衰退が進む中、会員同士の親睦・交流を第一に考え、事業実施に取り組んだ。

各事業には役員を中心に取り組み、事務局としては各単位クラブとの連絡調整、町や県老人クラブ連合会との調整を行った。

また、3B体操の講習やウォーキングなど健康づくり活動推進のため、調整等を行った。

(3) 障がい（児）者連合会 事務局

町内会員の交流を目的に、役員が中心となり事業企画を行った。行事には、ボランティア団体（シルバー介護士会、自立支援ボランティアわきあいあい）の協力を得て、多くの会員、家族が親睦を深めることができた。事務局として、各事業の調整、周知とりまとめ、会計事務など行った。

また、高幡地区障害者団体連合会の事務局も務めた。

(4) 母子寡婦団体「ひまわりの会」事務局

活動費を得るために“めんつゆ”等の販売の支援を行い、会員同士の親睦旅行やボランティア活動を実施した。事務局として、会員が安全に活動に参加できるよう配慮した。

(5) シルバー介護士会「ひだまり」事務局

一人暮らし高齢者等の在宅訪問活動が定期的（月1回）に実施できるよう、訪問世帯の調整や訪問後の心配なケースを関係機関へつなぐなど支援した。また、一人暮らし高齢者等を招き、一日宅老所「ひだまり」を3回実施した。